

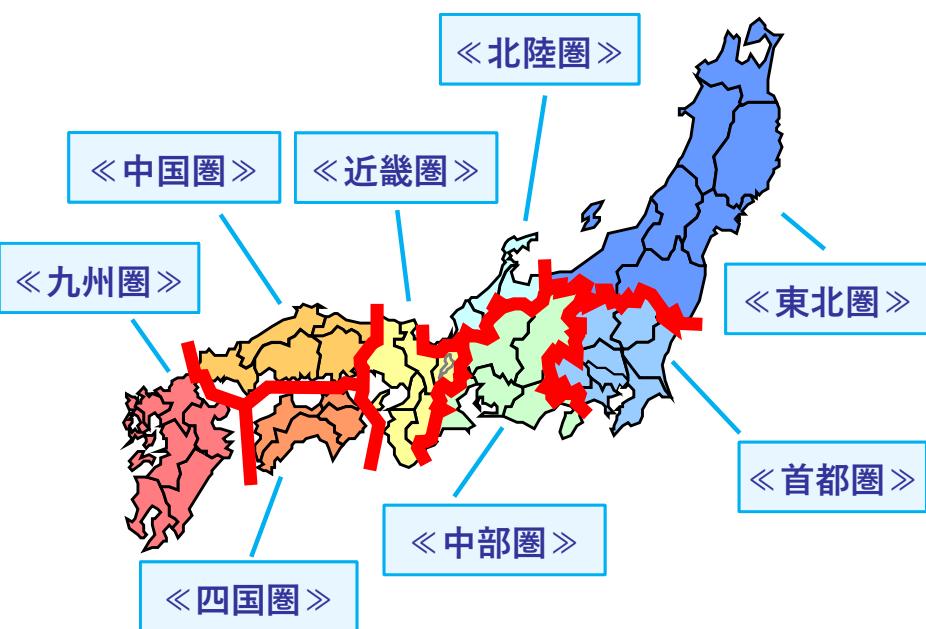
広域地方計画の策定について

令和8年2月

国土交通省国土政策局

- 広域地方計画は、全国計画（国土形成計画）を基本として、全国8つの圏域ごとに国土の形成に関する方針や目標、都府県の区域を超える主要な施策を定めるもの。国の出先機関、地方公共団体、経済団体等で構成される各圏域の広域地方計画協議会（官民プラットフォーム）が原案を作成し、国土交通大臣が決定。
- 現在、次期広域地方計画の策定に向け、同協議会の各主体が連携・協力し検討を進めており、令和7年10月、各圏域の同協議会において中間とりまとめ（案）を公表。今後、具体的なハード・ソフトの事業に係る確認等を経て、令和8年6月頃の計画策定（国土交通大臣決定）を目指す。

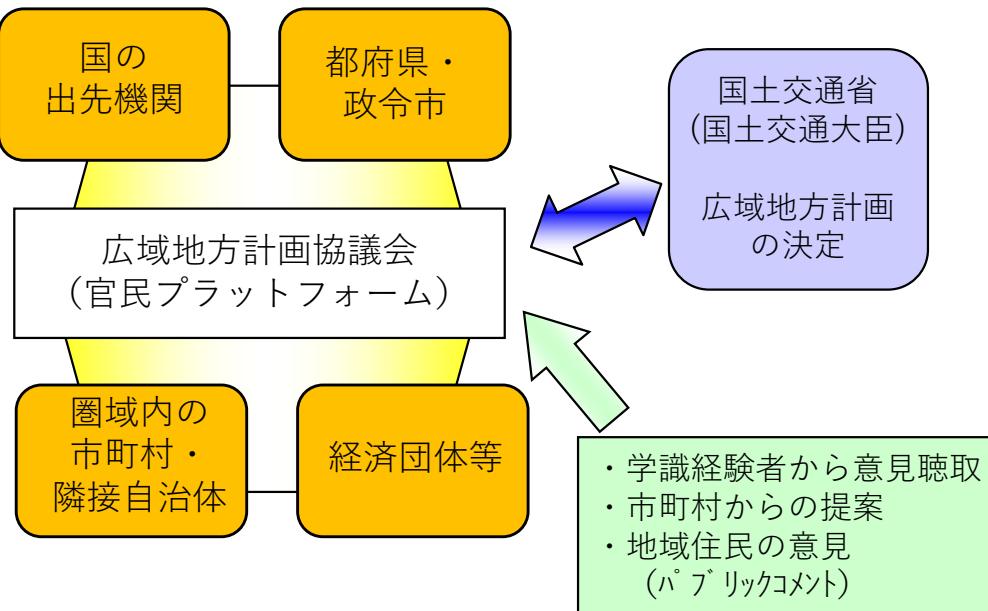
広域地方計画の区域



※北海道総合開発計画、沖縄振興計画とも連携して推進

広域地方計画協議会

- ・国の出先機関、地方公共団体、経済団体等で広域地方計画協議会を組織
- ・計画の策定に向けて、各主体が対等な立場で連携・協力



次期広域地方計画 中間とりまとめ(案)について

<「シームレスな拠点連結型国土」と「地域生活圏」の形成>

- 次期広域地方計画については、各圏域の文化・産業等の地域資源の強みを最大限いかし、陸海空の総合交通ネットワークの機能強化による「シームレスな拠点連結型国土」の形成と、日常の暮らしに必要なサービスが持続的に提供される「地域生活圏」の取組を面でつなぐため、各圏域の経済界等の民間主体と行政が有機的に連携し、都府県を超える広域圏内外の交流・連携を図る。

東北圏

- 圏域面積は広域圏の中で最大。広大な土地や豊かな自然環境も活かし、半導体や次世代放射光施設等の先端産業拠点の形成が進められている。
- 他の広域圏に比べて人口減少率が高く、圏域全体にわたる生活サービスの維持が課題。また、東日本大震災からの創造的復興等が求められている。

＜将来像＞
東北圏から示す新たな選択肢
～課題を新たな価値に変換し、開かれた圏域へ～

＜プロジェクト例＞



首都圏

- 国際空港・港湾など広域的な交通ネットワークが整備され、ヒト・モノ・カネ・情報が集積。
- 世界の中での我が国の首都圏の地位低下、都市と地方部の人口の地域偏在など、首都圏民による危機感の共有と取組への共感から始める参加・貢献が求められている。

＜将来像＞
危機感の国民的共有に基づき、
日本と地球の重要課題に果敢に立ち向かおう
～対流型首都圏の更なる深化へ～

＜プロジェクト例＞



北陸圏

- 北陸新幹線の開業も踏まえ、三大都市圏とのアクセス性に優れ、豊富な水資源を有しており、電子部品・デバイス関連の産業が立地。
- 中山間地域での過疎化等が進行。また、能登半島地震からの創造的復興等が求められている。

＜将来像＞
住み心地・居心地よく、多彩な魅力を活かして躍動する北陸

＜プロジェクト例＞



中部圏

- 輸送用機械の製品出荷額が全国シェアの半分を占めるなど、ものづくり拠点として経済発展に寄与。
- 都心部は、東京圏・大阪圏と比べ、居住面積が広いなど生活環境にゆとりがある一方で、中山間地域等において生活サービスの維持に向けた対応が必要。

＜将来像＞
生活の質が高く持続的に成長する強靭な中部圏

＜プロジェクト例＞



近畿圏

- 加工技術等のものづくり分野の強みをいかし、医薬品製造出荷額が関東と同水準であるなど、医薬品、再生医療等の拠点が集積。
- 都心部から離れた地域など、生活サービスの維持に向けた取組が求められている。

＜将来像＞
KX（Kansai Transformation）
～まじわり、つながる、変革する関西～

＜プロジェクト例＞



中国圏

- 山陽地方では輸送用機械及び化学製品が製品出荷額の約4割を占める一方で、山陰地方では同率を電子部品・デバイス及び食料品が占めている。
- 小規模な集落が多い中山間・島しょ部では、生活サービス機能の確保が難しくなっており、地域の存続に向けた取組が求められている。

＜将来像＞
活躍人口の創出、地域資源が持つ力を最大限発揮し、あらゆるつながりを再構築・強化することで、持続的に成長させる

＜プロジェクト例＞

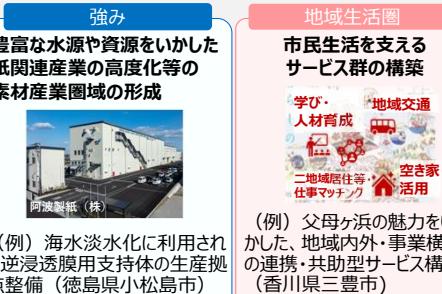


四国圏

- 豊かな自然環境も活かし、木材、紙等の基礎素材型産業の製品出荷額のシェアが全国平均より多いが、時代に即した変革が求められている。
- 人口減少、過疎化等が進行しており、市民生活の維持に向けた取組が必要。

＜将来像＞
・強くしなやかに自然と共生する安全・安心な四国
・人と地域が混ざり合い新たな魅力を創造する四国
・誰もが活躍し、豊かに暮らせる四国

＜プロジェクト例＞



九州圏

- IC（集積回路）の生産額が過去10年増加傾向で推移し、圏域内で半導体関連産業の投資が進歩。
- 離島・半島地域を多く抱えており、生活必需品の安定供給などが課題。

＜将来像＞
アジアの成長センター『アイランド九州』
～個性・魅力を発揮しながら、ひとつにまとまり発展し、誇れる九州～

＜プロジェクト例＞

